



所 管	まちづくり企画部交通政策課		
担 当	樋田 夏子	問い合わせ	0573-26-2111 (内線 424)

報 道 機 関 各 位

明知鉄道車両の乗降可視化システムの設置と防犯カメラの設置について

「明知鉄道沿線地域公共交通計画」に基づき、明知鉄道の乗降客数について、AI画像認識システムを用いて映像を数値に変換し、移動データを可視化するシステムを導入します。取得したデータを活用し、移動需要を定量化することで、ダイヤ改定などを効果的、効率的に行うことが可能となります。今後は、導入済みのバスの移動データとの一体的な活用により、誰もが利用しやすい新たな移動サービス等を提供していきます。

また、鉄道車両内での犯罪の抑止効果を高めることを目的として、明知鉄道全車両に防犯カメラを設置します。

乗降人数カウントシステムと防犯カメラの設置は、県内初の取り組みです。ぜひ広く周知していただきますようお願いします。

記

1. 乗降可視化システムの導入

明知鉄道車両にカメラコントローラと乗降カウント用カメラを設置し、カメラセンサーにより画像データを取得します。取得した画像データは数値化してクラウドに随時送信し、運行ダイヤ情報などに関連付けてデータを可視化します。

取得できるデータは、日時や曜日、各駅の乗降客数です。

2. 防犯カメラの設置

令和5年10月15日、三大都市圏など一定基準を上回る鉄道車両内に防犯カメラの設置を義務付ける鉄道運輸規程等の改正省令が施行されたことを受け、鉄道車両内での犯罪の抑止効果を高めることを目的に、明知鉄道全車両に設置します。

3. 稼働日など

(1) 可動日 令和6年2月1日(木曜日)

(2) 対象 アケチ10形14号車(乗車定員94人)
他の5車両も、順次設置します。

4. 配置図

